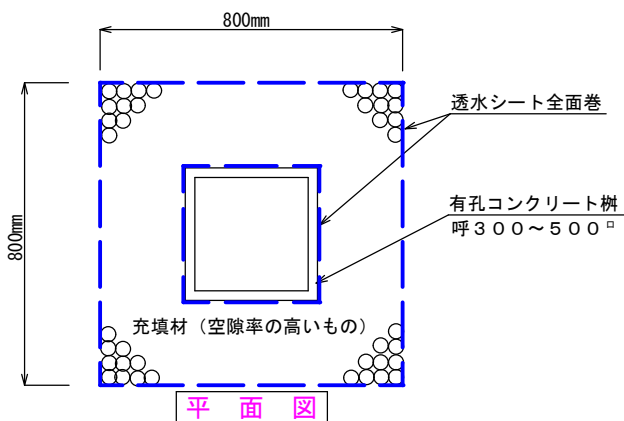
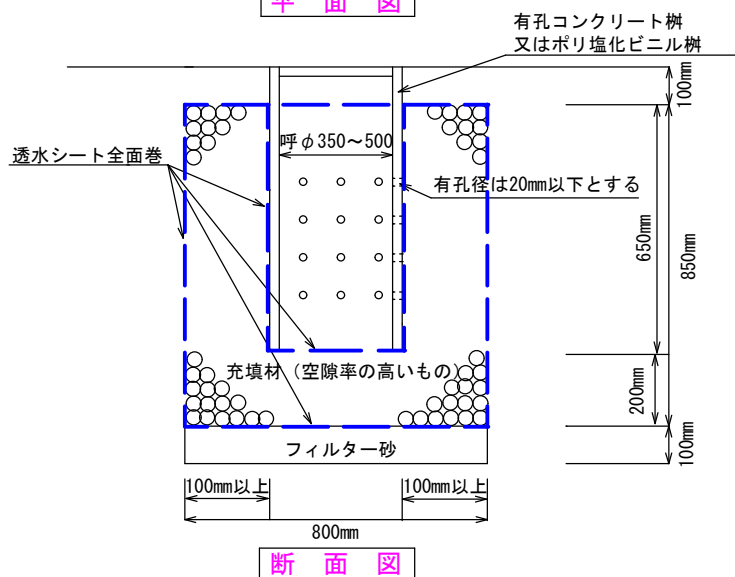
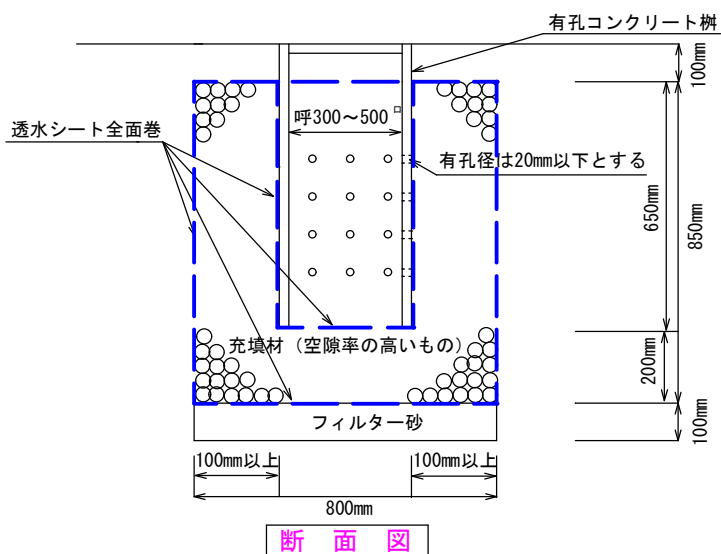
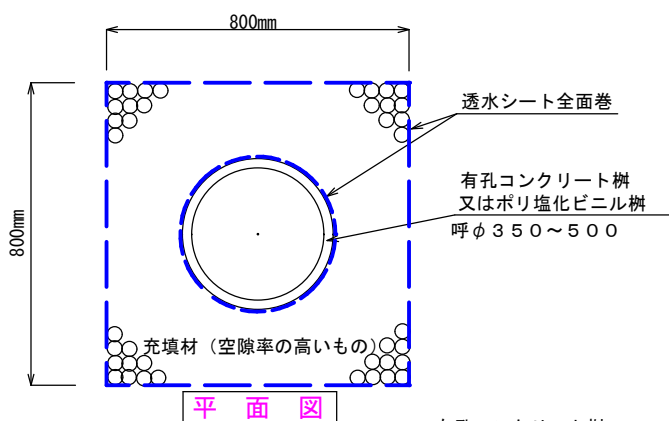


守谷市 標準浸透柵構造図

標準浸透柵構造図（角形）



標準浸透柵構造図（円形）



※充填材は有孔径より大きく、空隙率が高いものとし、一般的には単粒度碎石20mm~40mmの使用を標準とする。

なお、建設廃材の有効活用のため再生碎石（コンクリート破砕材など）を事前に洗浄し、粒径調整（30mm~40mm）したものであれば再生碎石の使用を認める。再生碎石の使用を認める。

※透水シートは土砂の碎石内への流入を防ぐとともに地面の陥没を防ぐために用いるため、幅5cmあたりの引張り強度が294N以上、透水係数0.001m/s以上、厚さ0.1~0.2mm以上のものを標準とする。

※流入管・流出管の設置が必要な場合は、土砂等の堆積を鑑み、泥ためを150mm以上設けるものとする。

なお、目詰まり防止や管理を容易に行えるよう、上部・底部・管口フィルターを適宜設置するものとする。

※造成を伴う開発行為の場合は、盛土分深く設置するものとする。

※1.5m以上の離隔距離を取って設置するものとする。（下記イメージ参照）

